（仮称）多可町生涯学習センター整備に係る過去の検討経過について

令和3年6月8日

（仮称）多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会

今回の説明内容

1　多可町生涯学習センター整備に関する過去の検討経過について
2　多可町各種計画における生涯学習センターの位置づけについて
3　（仮称）多可町生涯学習センター建設基本計画（提言書）について

1　（仮称）多可町生涯学習センター整備に関する過去の検討経過について

多可町生涯学習センターの整備に関する経過　①

平成23年7月～平成24年7月

多可町本庁舎等基本計画策定委員会【提言要旨】

○本庁舎、中央公民館、アスパル、上下水道センターに分かれている行政機能をまとめ、ワンストップサービスの実現を図ること

○庁舎規模は、職員数から算出し、最大で5,500㎡とする

○総合評価方式により4つの候補地から中央公民館敷地を適地とする

多可町生涯学習センターの整備に関する経過 ②

平成24年8月～9月

各地域協議会に、多可町本庁舎等基本計画策定検討委員会提言内容について諮問し、答申を得る

○新庁舎新築について異論なし
○全体計画・交通の安全・駐車場⇒明確にすること

多可町生涯学習センターの整備に関する経過 ③

平成25年7月～平成25年10月

多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会【提言要旨】

○多くの人々が地域社会の中で出番があるように知識を深め、居場所や集える場の整備をめざすこと
○中央公民館機能、図書館機能を更新するとともに、自主的な町民の活動や学びの場、多目的フロア、子育て世代・男女共同参画・音楽活動などの新たな機能を導入し多様な住民ニーズに対応できる社会教育の複合施設とする
○建設場所は町有地に限定したなかで、5つの候補地からアスパル東の隣接地を適地とする

多可町生涯学習センターの整備に関する経過 ④

平成26年3月多可町議会定例会

○本庁舎と生涯学習センターの基本設計費を計上した平成26年度予算案（本庁舎：中央公民館跡地案、生涯学習センター：アスパル隣接地案）を上程

○審議の結果、平成26年度当初予算修正可決

※本庁舎と生涯学習センターを同時に新築することは、あらゆる面からみて無理がある

※生涯学習センター基本設計費の予算が削除

※本庁舎の建設は必要だが、建設用地は白紙で再検討すべきとの意見

多可町生涯学習センターの整備に関する経緯 ⑤

平成26年9月　多可町議会

○本庁舎を規模縮小し、「現庁舎の場所で建て替え」の同意を得る

※建設費の高騰を受け本庁舎と生涯学習センターを同時期に新築することが財政的に困難となるため、中央公民館の解体を取りやめ、先に本庁舎を規模縮小し建設することとする

なお、生涯学習センターは、新築を見送る。

※本庁舎の場所は、全体事業費と災害時の拠点としての位置づけなどから総合的に判断し、現庁舎の場所での建て替えとする

多可町生涯学習センターの整備に関する経緯 ⑥

平成26年11月	地域協議会並びに住民説明会
平成26年 8月～平成27年3月	本庁舎 オフィス環境整備業務
平成27年 3月～平成28年3月	本庁舎 基本設計・土質調査・実施設計
平成28年 6月～平成30年9月	本庁舎 工事
平成30年10月22日	本庁舎 開庁

2 多可町各種計画における生涯学習センターの位置づけ

新町建設計画　（平成17年度⇒※令和7年度）

平成16年12月
中町・加美町・八千代町合併協議会【第19回合併協議会確認】
○「4.新町の施策」
①生涯学習の充実
新しい時代に主体的に対応する想像力と行動力に満ちた人づくりをすすめるため、「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学び、表現し、その成果を生かすことができる文化・生涯学習体制の整備を図ります。文化・生涯学習拠点として公民館や図書館などの利活用を促進します。

（施策にかかる主な事業）
生涯学習振興事業（交流施設整備等）

※延長した計画期間

第2次多可町総合計画基本計画（平成29年度⇒令和3年度）

施策：生涯を通して、学び、教えあう生涯学習を推進する

基本方針
生涯学習を通して、あらゆる世代が互いに学びあい、教えあい、人がつながるまちをつくります。そのために、生涯学習の拠点となる施設を整備し、地域課題等の関心を高め、自発的・自律的な生涯学習ができるよう、学習情報の発信や活動場所の確保、学習機会の提供につとめます。そして、多様な主体が連携・協力し、学んだ知識・技術経験等を地域に循環できる仕組みをつくります。

第2次多可町総合計画基本計画（平成29年度⇒令和3年度）

施策：生涯を通して、学び、教えあう生涯学習を推進する

取り組む事項

◎図書館機能の充実

・児童図書や地域の歴史文化資料等のまちづくりに資する良質な図書・資料の充実に努めます。また、近隣図書館との連携を進め、住民の皆さんのリクエストにも応じ、情報提供機能の充実を図ります。

◎生涯学習に必要な拠点施設の整備

・生涯学習に関する情報提供機能・学習スペース機能・学習参加者同士の交流機能等、総合的な環境を整えた「生涯学習センター」の整備を検討します。

第2次生涯学習推進基本計画（令和2年度⇒令和11年度）

基本目標1 学ぶ意欲を支援する学習環境づくり

主要施策3. 生涯学習施設の整備・充実

(3)学びの核となる（仮称）生涯学習センターの整備

次代を担う人材を育成するためには、新たな人と人のつながりを創出し、つながりを生かせるコミュニティづくりを進めることが重要です。

また、住民一人ひとりが社会的に包摂されるためには、住民の学びが、地域社会を支える大きな力となる活動をつくる、新たな生涯学習への環境づくりも求められます。

それには、住民がいつでも快適に学べ、各地域での活動の交流や相互支援「住民活動ネットワーク（住民・各種団体・グループ等の連携、協力体制、情報共有の場 や交流の場）」として、活発に取り組め、住民力・地域力を高められる「住民の、住民による住民のための学びの場」(仮称)生涯学習センターの整備を進めます。

第2次多可町教育ビジョン （令和3年度～令和7年度）

基本施策Ⅲ 生涯学習の推進
－生涯を通して学び、つながる、元気と生きがいを育む生涯学習のまちづくり－

Ⅲ－1 生涯学習の充実
○生涯学習施設の整備・充実
・関連施設の機能をいかすとともに、連携プログラムのネットワーク化を進めます。
・学びや交流の拠点となる(仮称)生涯学習センターの整備に取り組みます。
○図書館の充実
・図書館は、本や読書活動を核として、町民が「集い交流できる」「情報発信できる」「心くつろげる」など、多様な機能を併せもつ生涯学習施設をめざし、 諸機能及びサービスの充実・改善を図ります。

3 （仮称）多可町生涯学習センター建設基本計画（提言書）

平成25年10月

多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会

目次

はじめに
1. 中央公民館・多可町図書館を取り巻く現状と課題
   ① 中央公民館
   ② 多可町図書館
2. 建設の必要性と位置付け
   ① 合併特例債事業
   ② 第1次多可町総合計画基本計画
   ③ 町民意識・実態調査アンケート
   ④ 中央公民館・図書館を取り巻く現状と課題の環境整備に併せ
3. 中央公民館・多可町図書館の概要
   ① 中央公民館
   ② 多可町図書館
4. 基本理念
5. 建設規模
   ・ 必要な機能
   ・ 構成する施設
6. 建設場所
7. 生涯学習振興の中核施設として

参考資料
◆ アンケート（生涯学習に関する町民意識調査）
◆ 検討委員会設置要綱
◆ 検討委員会等活動状況
◆ 検討委員会名簿

はじめに

新町建設計画、後期総合計画に描かれているように、これからの市町村は、地域課題等の関心を高め、連携・協力し、学んだ知識・技術・経験等を地域に循環できるしくみをつくり、学習情報の発信や活動場所の確保・学習機会の提供を図ることが必要である。

生涯学習センターの性格としては、多可町の既存施設の状況より、中央公民館と図書館の機能を併せ持つ施設として考えることとなった。

1. 中央公民館・多可町図書館を取り巻く現状と課題

① 中央公民館（昭和48年建設）

耐震問題
新耐震基準を満たす建物ではない
↓
耐震改修を行っても施設の延命化は図られない

老朽化
雨漏りがする
エレベーターが設置されていない
↓
障がい者・高齢者にとっては利用しにくい

駐車場問題
国道からの迂回路がない
↓
駐車場への出入りが難しい
駐車スペースが手狭である

音響問題
ホール等の音響が悪い
↓
講演会・音楽活動に支障がある

会議室問題
小・中会議室　2部屋のみ
＊小会議室は、図書室を区切って教育長室と小会議室にしたため音漏れが生じる

② 多可町図書館
(昭和54年公営結婚式場コミュニティーセンター建設⇒平成16年改修)

立地条件
既存施設を改修したため生活動線上から離れている
国道から入り込んでいる
↓
買い物のついでに立ち寄ってみたいような立地ではない

施設問題
天井が低い
↓
音が横に流れる

トイレのドアや風除室がない
↓
臭いの問題・室内温度の管理に問題が生じている

充分な広さがない
↓
充分な閲覧席が確保できない
談話コーナー等のスペースが取れない
必要な蔵書数を満たしていないにもかかわらず収納しきれない

2.　建設の必要性と位置付け

①　合併特例債事業

・中央公民館の耐震大規模改造
・図書館機能を含む生涯学習施設の新築移転整備事業

②　第1次多可町総合計画後期基本計画

（2012年⇒2016年）

基本方針

「生涯学習を通して、あらゆる世代が互いに学びあい、教えあい、人がつながるまちをつくります。そのために、生涯学習の拠点となる施設を整備し、地域課題等の関心を高め、自発的・自立的な生涯学習ができるよう、学習情報の発信や活動場所の確保、学習機会の提供につとめます。そして、多様な主体が連携・協力し、学んだ知識・技術・経験等を地域に循環できるしくみをつくります。」

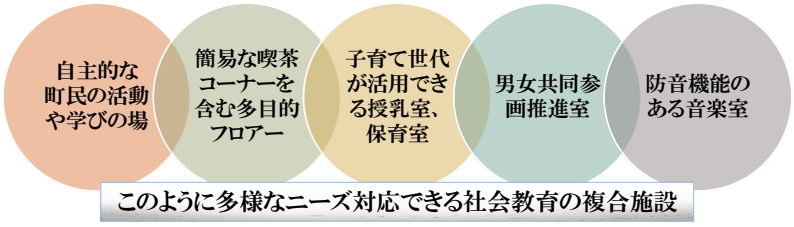
③ 町民意識・実態調査アンケート（平成25年6月実施）

1，000人対象⇒259人回答

Q. 生涯学習を支援するために、
町はどのようなことに力をいれるべきか？

・中央公民館等社会教育施設機能の充実
・図書館を含んだ生涯学習施設を建設し、
子どもから子育て世代、老年までが集う場が必要である。

④ 中央公民館・図書館を取り巻く現状と課題の環境整備に併せ

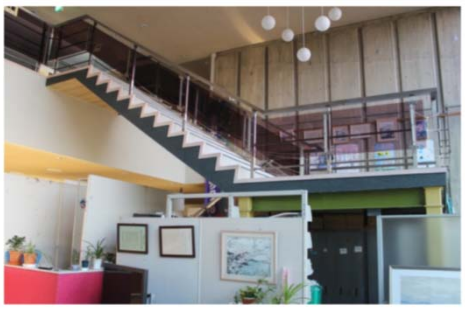


町民が幼児期・学齢期・青年期・成人期・老年期に至るまで、
生涯学習の拠点になるような生涯学習センターの整備が必要である。

3.　中央公民館・多可町図書館の概要

①中央公民館

所　在　地　中区茂利20番地
構　　造　鉄筋コンクリート造　2階建て
敷 地 面 積　4，564．9㎡
延 床 面 積　1，452㎡
駐車場面積　1，750㎡(75台)
供 用 開 始　昭和48年12月
部 屋 数 等　1階　談話コーナー、調理室(調理台)、
事務室(2)、打合せ室、相談室、
トイレ(1)、倉庫(2)、機械室
2階　大会議室(200人)、
中会議室(30人)、
小会議室(20人)、和室(25帖)、
給湯室、教育長室、トイレ(1)、
倉庫(1)
運 営 体 制　中央公民館長1名(教育総務課長)
職員5名



エレベーターの設置がない……

◆中央公民館年度別利用状況表

○平成24年度

	件数(件)	人数(人)
大会議室	422	12，149
中会議室	530	7，848
小会議室	360	4，330
和　室	319	3，726
調 理 室	112	1，637
合　計	1，743	29，690

○平成23年度

	件数(件)	人数(人)
大会議室	439	11，857
中会議室	531	7，485
小会議室	366	3，715
和　室	296	3，481
調 理 室	104	1，216
合　計	1，736	27，754

○平成22年度

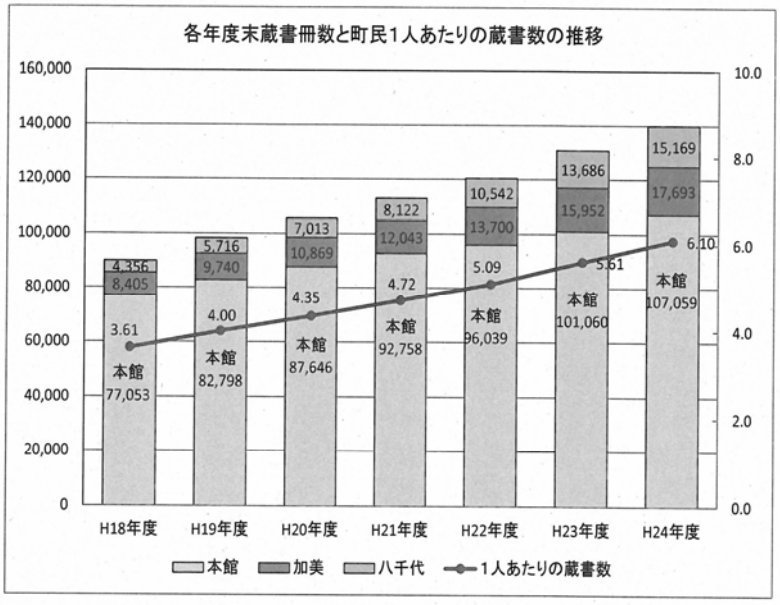
	件数(件)	人数(人)
大会議室	395	11，697
中会議室	542	7，594
小会議室	367	3，459
和　室	324	3，228
調 理 室	121	1，788
合　計	1，749	27，766

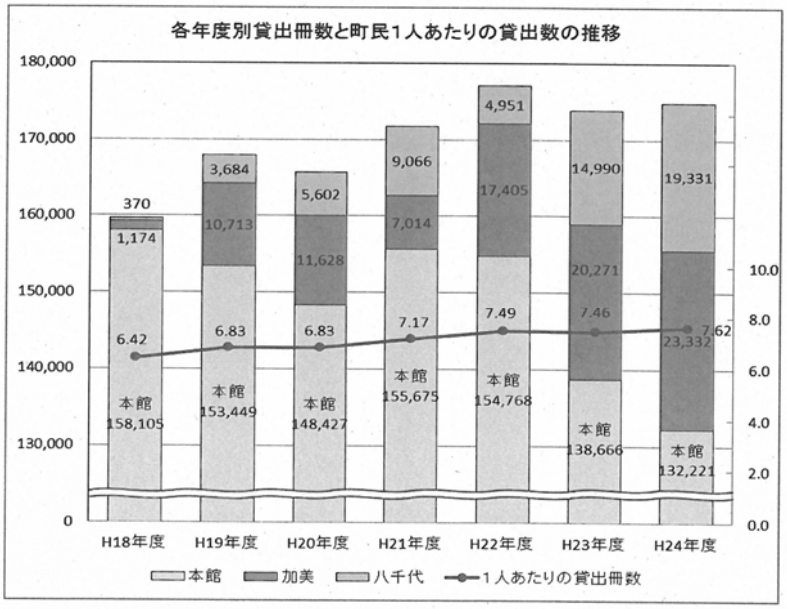
②多可町図書館

所　在　地	中区糀屋434番地11
構　　造	鉄筋コンクリート造　1階建て
延 床 面 積	616．54㎡
供 用 開 始	昭和54年4月
図書館開館	平成16年3月
開架スペース	400㎡
閉 架 書 庫	31㎡
学　習　室	40㎡
運 営 体 制	図書館長（1名） 職員4名（うち図書館司書1名）

本が収納しきれない……

◆多可町図書館年度別利用状況表



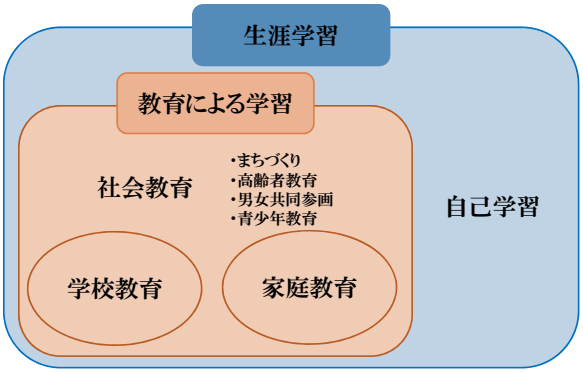


4. 基本理念

教育基本法第3条

町民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう「生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習ができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」

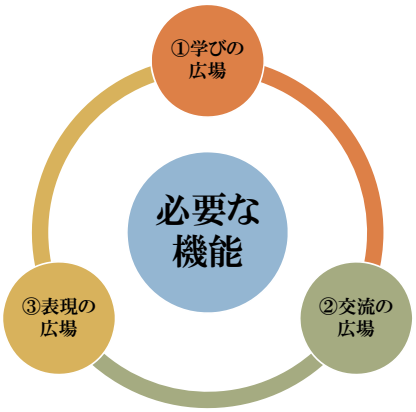
社会教育と生涯学習の関係（イメージ図）



あらゆる世代が互いに学びあい、教えあい、人がつながるまちをつくるために、学習情報の発信や活動場所の確保・学習機能の提供に努め、学習を通じて得た知識、交流の広がりをまちづくりに生かし、多様性を受け入れることができる地域づくりの拠点施設として次の機能を有する(仮称)多可町生涯学習センター施設整備を行う。

多くの人々が地域社会の中で、出番があるように知識を深め、居場所や集える場の整備をめざす。

・必要な機能



5. 建設規模

延床面積　　2,620㎡

建設事業費(概算)　9億5千万円

・構成する施設

① 学びの広場

諸　室	主な内容	規　模(㎡)	備　考
研修室	大・中・小研修室 (40人・20人・15人)	80・40・30	・音響、映像に優れたOA機器を備える
創作室	工芸実習	65	・美術、木工等多目的に利用できる ・洗い場、流し台を設ける ・作業机を設ける
和室	お茶・お花・着付け教室	60 (36帖)	・茶室、水屋を設ける ・誰もがくつろげる
調理室	調理台・準備室	95 (内準備室25)	・準備室を設ける ・3区合同行事にも活用できる
音楽室	バンド練習	25	・防音設備を設ける
男女共同参画推進室	相談室・事務室 情報コーナー	40 (内相談室20)	・DV相談室を設ける ・情報発信の場を設ける
図書館	蔵書数8万冊の開架スペース カウンター・ブラウジングコーナー 情報検索コーナー・おはなしコーナー	930	・誰でも利用しやすく低めに書架を設ける ・利用者に応じた音空間をデザインする ・ゆったりしたブラウジングコーナーを設ける
閉架書庫	図書5万冊・新聞、雑誌の保管	130	・新聞および雑誌を最大3年間保存できる
図書館管理スペース	団体貸出用図書(大塚文庫) 装備作業・図書整理作業	75	・団体貸出用図書を保管するスペースを設ける ・団体貸出等の作業スペースを設ける
自習勉強室	学習室・研究室	30	

② 交流の広場

諸 室	主な内容	規 模(㎡)	備 考
交流広場	催事・展示・喫茶コーナー 給湯コーナー・情報端末 情報収集・発信コーナー	190	・天井が高く開放感がある ・いつでも誰でも気軽に立ち寄ることができる
保育室	プレイルーム・託児室	35	・衛生面から土足厳禁 ・柔らかい床、または畳敷きにする
授乳室	給湯コーナー	10	・仕切りを設ける
ボランティア室	会議室・PC 印刷コーナー	30	・団体、個人が利用しやすいコーナーを設ける

③ 表現の広場

諸 室	主な内容	規 模(㎡)	備 考
ホール	200人収容 ステージ・音響機器	250	・学習の機会や発表の場を設ける ・多目的に使用できる ・車イスの利用ができる客席を設ける

その他

○管理部門

諸 室	主な内容	規 模(㎡)	備 考
事務室	図書館事務室 生涯学習事務室	150	

○共有部門

諸 室	主な内容	規 模(㎡)	備 考
倉 庫	倉庫	160	・播州歌舞伎等の用具が収納できる
トイレ	トイレ	45	・子供用トイレを設ける ・子供連れの親も使用できる機能を設ける
廊下	廊下	150	
駐車場 駐輪場	駐車場100台	1750	・ホール200人収容時に対応できる駐車場を設ける ・1区画 幅2.5m×4m

6. 建設場所

町の所有地に限定

防災・避難所・市街地機能・環境・アクセス・周辺整備、駐車場、
他の施設との連携などの事項について考慮した結果・・・

アスパル東の隣接地 10，750㎡

○自然環境が豊かである。
○国道からの出入りがし易い。
○スポーツ施設、公園が近くにある。
○駐車場も広くとることができる。

※ただし、防災の観点から浸水の不安がある。
本が水に弱いことを考えて、浸水対策として
建物周辺の基盤整備を行う。

7. 生涯学習振興の中核施設として

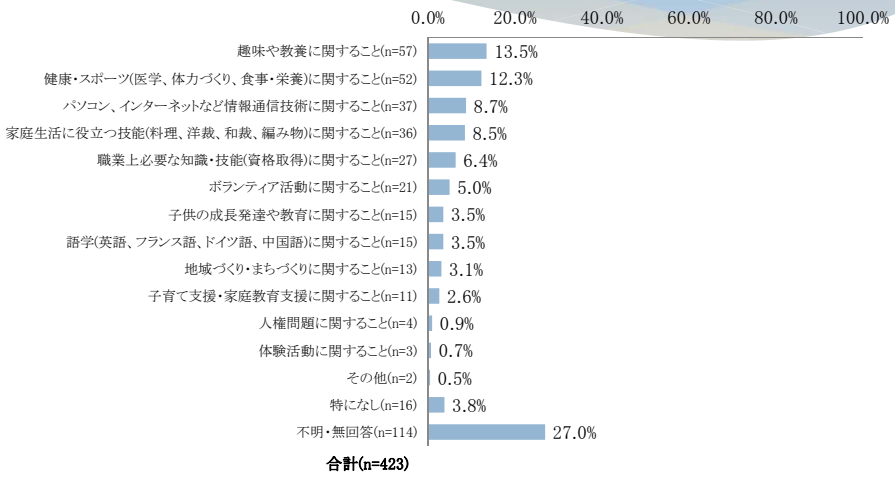
・点在する生涯学習施設を有効に活用し、統括する。
・公民館機能と図書館機能の相乗効果を図る。

生涯学習をコーディネートする人材が必要である。

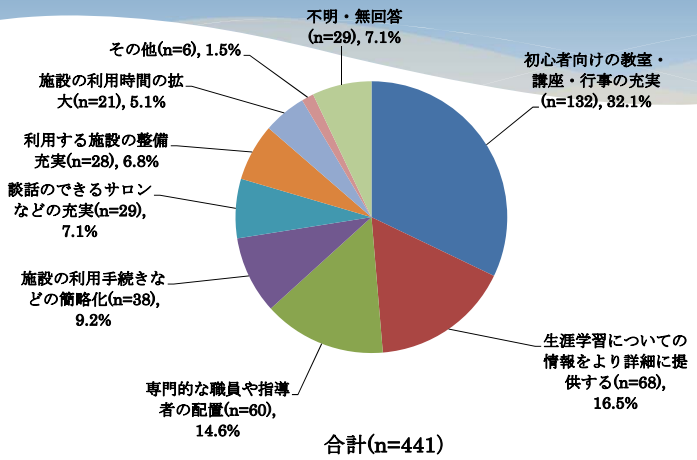
参考資料

◆アンケート
(生涯学習に関する町民意識・実態調査　H25.7実施)

○今後、学習したいと思う内容を選んだもの



○今後、生涯学習について必要と思われるもの



合計(n=441)